



2020年度 町田第一地区 市政懇談会

次 第

[日時] 2020年10月28日 (水) 19:00~20:30

[場所] 町田市民文学館 大会議室

司会進行： 市民協働推進担当部長 大貫 一夫
町田第一地区町内会・自治会連合会 副会長 鈴木 暢生

○ 連合会長の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 会長 宮島 榮一

○ 市長の挨拶

町田市長 石阪 丈一

○ 職員の紹介

○ 市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 中心市街地のまちづくりについて

【経済観光部】 【都市づくり部】

2 芹ヶ谷公園の防犯対策について

【都市づくり部】

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

○ 閉会の挨拶

町田第一地区町内会・自治会連合会 平本 勝哉

2020年度 町田第一地区 市政懇談会
議事録(要旨)

[日 時] 2020年10月28日(水) 19:00～20:30

[場 所] 町田市民文学館 大会議室

[出席者] 町田市長 石坂 丈一

経済観光部長 井上 誠

都市づくり部長 萩野 功一

都市整備担当部長 平本 一徳

市民部市民協働推進担当部長 大貫 一夫

町田第一地区町内会・自治会連合会長 ほか11名

事務局 市民部市民協働推進課 5名

司会進行：市民協働推進担当部長

町田第一地区町内会・自治会連合会副会長

○町田第一地区町内会・自治会連合会長の挨拶

○市長の挨拶

○職員の紹介

○市政懇談会について

第1部 地域の議題に関する意見交換

1 中心市街地のまちづくりについて

町田市基本構想と基本計画「まちだ未来づくりプラン」が2022年3月に終了することに伴い、現在、新たな基本構想・基本計画「(仮称)まちだ未来づくりビジョン2040」の策定が進められていますが、現計画においては、未来づくりプロジェクトの一つとして「町田駅周辺の魅力を向上させるプロジェクト」が掲げられています。

プロジェクトの内容は、「町田駅周辺地域の魅力をより一層向上させるため、原町田一丁目地区、原町田三丁目地区、小田急町田駅周辺地区を重点検討地区とし、新たな賑わいの創出やゆとりの空間の確保に向けた取り組みを進めます。」とされています。

市内の鉄道駅では、昨年11月に南町田グランベリーパークがまちびらきしたところですが、町田市の顔である町田駅周辺の取り組みはどうなっているのでしょうか。

そこで、以下についてお伺いします。

(1) JR町田駅南口のまちづくりの現状と今後の予定

(計画では、「2021年度都市計画決定」が目標とされています。)

(2) 小田急町田駅周辺地区のまちづくりの現状と今後の予定

(計画では、「2021年度小田急町田駅周辺地区整備基本計画策定」が目標とされています。)

(3) 芹ヶ谷公園等の周辺施設との回遊性向上に向けた取組みの現状と今後の予定

【回答】

都市づくり部長

(1) 及び(2)について合わせてお答えいたします。

JR町田駅南口のまちづくりにつきましては、これまで地権者とまちづくりについて話し合いを進めてまいりましたが、JRとの協議が進んでいない状況です。従いまして計画でお示しした2021年度の都市計画決定は難しい状況です。

小田急町田駅周辺地区のまちづくりにつきましては、現在、多摩都市モノレール導入を見据えて、地区内の地権者とまちづくりに向けた協議を進めているところです。

今後につきましては、2021年度の策定に向けて取り組んでいる「(仮称)都市づくりのマスタープラン」の中で中心市街地のビジョンをお示しし、地域の皆さまを始めとした様々な関係者と情報共有を図り、魅力あるまちを実現していきたいと考えております。

経済観光部長

(3)についてですが、まず、市では、2016年に町田市中心市街地活性化協議会と協働で策定した「町田市中心市街地まちづくり計画」に基づき中心市街地のまちづくりを進めています。

具体的には、原町田大通りのフェスタ町田で使っている範囲の車道を歩道として活用することで、憩いの空間や賑わいを創出することを検討しております。

2019年度には原町田大通りの一部区間を通行規制する実験を行いました。2020年度は、歩道として活用する予定の車道部分にコーンなどを置き、近隣の道路への影響を調査します。来年度、2021年度には、実際に車道を歩道として活用する実証実験を行う予定です。

また、原町田中央通りにおいては、11時から19時までの車両通行規制時間に多くの荷捌き車両が進入しております。この状況を改善するため、先ほどご説明した原町田大通りの実証実験に合わせて、原町田大通りに荷捌きできるスペースを設ける予定です。

こうした、中心部と周辺地域を繋ぐ道路空間の活用に加え、町田シバヒロを日常的に利用していただくために、シバヒロの使い方を考えるワークショップなどを行っております。その結果、2020年8月には、イベント参加者が主体とな

って星空の観望会を行うことができました。今後はこうした市民発意のイベントを更に行いたいと考えています。

また、町田ターミナルプラザ市民広場では、小さなお子さんが裸足で遊べるよう人工芝を敷いた「ちびヒロ」とその周辺に椅子・テーブルを設置しました。ここでは2018年度から定期的に「まちなかシネマ」として映画鑑賞会を行っており、2020年度は7月から10月まで週末に月2回実施しています。

お尋ねの「芹ヶ谷公園等の周辺施設との回遊性向上について」ですが、現在、芹ヶ谷公園では「パークミュージアム」というコンセプトを掲げて再整備を進めております。先ほど申し上げた、シバヒロやターミナルプラザにおける取り組みと同様に、芹ヶ谷公園の再整備は、公園の魅力を向上させるだけでなく、まち全体の価値を高める取り組みと考えております。

芹ヶ谷公園の再整備等によって、まちと周辺施設の関係がより深く、より一体的になってくることで、中心市街地全体の賑わいづくり、回遊性の向上を目指しております。

《質疑》

原町田四丁目第二地区街づくりの会

JR町田駅南口のまちづくりについては、進める予定がないということか。南口について計画が頓挫した場合、今後市として一層の働きかけを行う予定があるのか。

町田市は、回遊性をテーマにしていると思うが、南口が不活発な故に、原町田二丁目商店会や三丁目商店会がどんどん頓挫してきている。あまりにも原町田大通りで分断されることが進められていて、回遊性という意味では南口も活用して文学館通りを歩行者天国や一方通行にするとか、面で考えるということは、今考えていないのでしょうか。

都市づくり部長

JR町田駅南口の関係ですが、今まで話を続けてきましたが、なかなか合意に至らない部分があります。JRとしては少し中央に寄りたいたいという考えを持っており、保線区の移設をどうするかという課題もあります。市としては、南口の位置は現状ということで話をしており、そこで平行線が長く続いておりました。

今後この状況を打破するのは難しいですが、当面の事業としては自由通路の耐震設計に来年度から入り、ここを残すことを考えています。その後、リニューアル工事を考えています。併せて、原町田一丁目駐車場が老朽化しているので、当面は建替えて使っていく考えでいます。それと並行して、現在、モノレールが入ってくることを想定して中心市街地全体のまちづくりをどうしていくかを考えております。その中で、一丁目の方針をしっかりと検討していきたい。

回遊性という問題ですが、今モノレールの導入が原町田大通りに想定されています。中心部分だけをいじるのではなく、モノレールを入れたときに居心地が良くて歩きたくなる街、ウォーカブルと言われている機能をしっかりと入れていきたい。車は少し外側へ、中心市街地は人が歩くことを中心とする仕組みを検討しています。

原町田四丁目第二地区街づくりの会

パークアンドライドという考えですよね。それは、どの辺を予定しているのですか。東側はどうですか。

都市づくり部長

原町田大通りでいえば町田街道から入って浄運寺前の都市計画道路くらいまでは、車は入ってこざるを得ないと思います。計画を検討している段階なので、どこまでということは、利用者や様々な関係者の意見を踏まえながら、検討をしていきます。

東側については、まだどこまでか考えておりませんが、文学館通りがひとつの境になってくるという気がします。

原町田四丁目第二町会

(1)の回答についてだが、要は、JRは小田急線側に移らないということなんでしょうか。それには相当お金がかかり、経済的に市が経費を出さないと実現不可能ということなのか知りたい。

都市づくり部長

JRの考えとしては、中央が混雑しているので、中央にある程度集約しながら改札口をもっと中央に寄せたいという意向があるようです。その中で、我々としては過去の経緯を考えると、今のターミナル口を残したいということもありますので、大きなデッキを造って残せるのかという検討もしましたが、線路の上に蓋をかけるのは相当な費用負担がでますので、現状のところは、モノレールを入れることを見据えながら全体としてどうしていくのかを検討しています。

2 芹ヶ谷公園の防犯対策について

芹ヶ谷公園の園路（通路）を、朝、夕の通学時に子どもたちが歩いて利用しています。登校時や下校時には地域住民による子どもの見守りも実施されていますが、下校時間帯に変質者が出たという情報がありました。

芹ヶ谷公園は緑が多く、高低差もあることから、死角となってしまう箇所

もあると思われます。子どもたちが安全・安心に歩くことができるよう、樹木の剪定を行う等、見通しの良い公園にすることはできないでしょうか。

【回答】

都市整備担当部長

芹ヶ谷公園につきましては、樹木が生い茂り、起伏もあることから死角となるところがあることは承知しております。

防犯対策としては、警備員による巡回や樹木の剪定などで対応しておりますが、例えば、樹木にテープを巻いてもらうなどして、どの樹木を伐採、剪定するか現地で確認するなど、皆様と具体的なプランを持ち寄って決めていきたいと思っております。

今後も、子どもたちが安全・安心して公園内を歩けるよう、地域の皆様と一緒に考えてまいります。

《質疑》

原町田五丁目町内会

今度工芸館を建設するということだが、資料によると、2年半位工事をするという書いている。工事車両の往来が心配なので、考えていただきたい。

ホームページに掲載された計画に対する市民の意見を見たが、今まで安全に動いていたところへ車が来ることについて不安だ、心配だという質問があり同感である。工事期間と完成後、大型車両が入ってくるということについて、どのように考えているのか。

また、大型車両が通ることによって緑が切られてしまうのではないかと。原町田四丁目、五丁目に住む芹ヶ谷公園を愛している人にとっては大事なことなので、その辺についてもよく説明してもらいたいので、考えをお聞かせください。

都市整備担当部長

芹ヶ谷公園の中は、通学路に指定されている場所で、工事が長い期間になるので、その間子どもの安全をどのように確保できるか、十分に検討させていただきたいと思っております。その内容については、保護者の方が納得できるようなものを説明させていただきたいと思っております。

緑が整備によって減ってしまうというご心配は、当然あるかと思っております。芹ヶ谷公園の再生の基本計画に則って、全体的にバランスの良いものに仕上げたいと思っております。また、ご心配されている死角の問題等も含めて、より良い緑の配置についても考えて整備していきたいと思っておりますので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

原町田五丁目町内会

その辺の説明をできれば早めに、ホームページに掲載されて終わりではなく、今お話のあったことを近隣の方たちに説明していただくことが大事だなと思っています。

都市整備担当部長

全体の説明会というのは、今コロナ禍で難しいところもありますが、工事の説明会とは別に考えていきたいと思います。いずれにしても、近隣の皆様にはご理解をいただけるようなことをまずは考えてやっていきたいと思いますので、よろしくをお願いします。

原町田五丁目町内会

原町田大通りの延伸で測量が始まるということですが、現状の二小から二中へ向かう道路について、カーブがきつく以前から事故が多い。二小の裏門の前を通り越して平らな通りに出るところは、非常に狭くてすれ違いができないような感じである。原町田大通りの延伸で二中のところまで整備されることで整備が進むと思うが、スケジュールはいかがでしょうか。

それと同時に二中から芹ヶ谷公園の多目的広場側に歩道がついているが、上りになると途中で歩道がなくなり、二小の方まで階段になる。歩道を上まで繋げて整備した方が良いのではないのでしょうか。

それに伴って、そのカーブを緩やかにしていただけると事故が減るのではないか。特に日が当たらない場所のため、雪が降ったら溶けないので滑って危険である。原町田大通りの延伸と併せて、既存の道路の整備や安全性の向上を考えていただければと思います。

都市づくり部長

原町田大通りの延伸のスケジュールですが、概ね10年程度を目標に整備していく形になります。それとあわせて、市民病院から町田高校の裏を通って交差する道路も東京都の事業計画の中では、2025年までに着手する計画に入っております。用地の取得や工事など時間がかかりますが、モノレールの導入ルートということもあり、我々も東京都とタイアップして整備を進めることを目指しています。

二小のカーブのところや少し上の細いところから出てくる場所ですが、車道には減速をするという意味で視覚的に分かるようにカラー舗装で表示しております。この道路については、原町田大通りの延伸によって交通が回っていくことを想定をしているため、将来的には交通量が減ると見込んでおり、拡幅予定はありません。

原町田二丁目町内会

旧伊藤病院の急な坂を下りていくところですが、回遊性ということでいくと、公園の方へ行く人が歩いていくには苦勞する坂である。普段の生活の中でも上り下りがきつく、雪が降ると歩けない状況になる。回遊性というところで、そこを変えていく計画を考えていると思いますが、説明をいただきたい。

都市整備担当部長

今回の整備計画の中では、工芸美術館の上を通るかたちで版画美術館のエレベーターを使って、下まで降りられるような配置を考えています。回遊としては、エレベーターを使って下と上を繋いでいく内容を検討中です。

原町田二丁目町内会

階段をつくる考えはないのか。生活道路でもあり、回遊性を考えると遊びに来る人にとっても通行に重要な場所である。街中の回遊性を上げるには、道路もしっかりと対応していかなければならないと思うが、その辺も考えた上で計画を進めていただきたい。

都市整備担当部長

階段については、公園内をバリアフリーに考慮した通路を考えています。道路上に階段構造をつくるのは、法律上難しいところがあるかもしれませんが、代替案が検討できるかについては担当部署と相談しながらやっていきたいと思います。過去に手すりが付けられた経過があり、雪が降ると歩けない状況があるのは把握しておりますので、今後検討していきたいと思っています。

原町田四丁目第二町会

手すりは付いたが、途中だけしか付いていないので、上から下まで全部にお願いしたい。

ユニカが、長崎屋跡地の会社になった。まちづくりの関係については中心市街地活性化協議会が色々やっているが、状況をお話いただきたい。

都市づくり部長

ユニカの件ですが、いくつか土地を所有していることは存じていますが、土地の活用について細かい情報は掴んでいません。

坂に手すりが一部しか付いていないという点は、持ち帰って担当部署に伝えていきたいと思っています。

第2部 市政全般に関する意見交換

市長からの市政報告

まず、JR南口の件については、7年位JRと交渉を続けてきましたが、話がまとまらず、昨年の段階で難しいのではないかという話になりました。

国際工芸美術館の話ですが、道路は日常の移動に要するというコンセプトで今も変わらずやっています。先週からの自治会向け個別説明会で話があったかと思いますが、エレベーターでのアクセスは国際版画美術館の開館日以外もできる予定です。今焦点になっているのは、朝と夜の開閉時間のところで、庁内関係部署で議論をしています。

旧伊藤病院の坂のところは、回遊という意味で使う考えはしていません。道路の安全性という面で検討していきたい。

原町田大通りの考え方というのは、通りを新しくつくる時も色々と議論がありました。モノレールを入れるためには、あれだけの幅が必要でした。今回の歩きたくなる街というのは、道路があっても向こうとあちら側がつながるような感覚や実感をもてるような一体間のある街というのがコンセプトにある。今回の歩きたくなる街の計画の根っこにあるものです。

モノレールの一番の問題は、駅をどこに持ってくるのかということです。乗り換えの抵抗が大きいと採算が合わなくなります。現在、場所の設定を作業しているところで、それによって再開発になるかどうかの大きな話になってきます。もう一つは、モノレールが入れば、バスの本数が半分位になるので、バスセンターのターミナル機能が変わります。電車やバスの乗換えも一緒に検討する必要があります。複数の地権者がいる中で計画をまとめる作業をしているところです。町田中心の乗換えが不便だと、中心街の評価が下がるので、頑張らなければならない。そこが大きなポイントだと思っています。

新型コロナウイルスについて、報告をします。

最初に国の制度で一人10万円の特別定額給付金を支給しました。432億円の支給事務が終わりました。

10万円の特別定額給付金は4月28日以降に生まれた子は対象外でしたが、追加で来年の4月1日生まれまでは対象となり、順次申請を受付け支給しています。

子育て世帯への臨時特別給付金を支給しました。そのあとに、ひとり親のご家庭に特別給付金を支給しました。

医療関係では、市内の病院4か所に合計2億円の支援を行いました。医師会と保健所が協力して、多摩地域で一番にPCRの検査場をつくりました。現在は、森野で引続きPCR検査を行っています。

さらに中小企業の方の家賃補助事業を2回行いました。合せて、約14億3千万円でした。市では売上が15%以上の減収があった方を対象にしました。

また、介護サービス事業者へは2億8千万円の支援を行いました。

最近では、市内法政大学のサッカー一部合宿所で集団感染が起りましたが、市民の皆さまや各事業所が予防していただいているおかげで、クラスター発生が抑えられているのはすごいことです。他市と比べて人口当たりの感染者数が少ないのも、一人ひとりが気を付けているからではないかと思います。

《質疑》

原町田五丁目町内会

生活道路の件ですが、今の計画で版画美術館を通ると警備など経費がかかるのではないかと思います。独立してエレベーターを建てれば版画美術館の影響を受けず、人をかけなくて済む。コロナ禍で市の財政も大変だと思うので、少しでも節約できる計画にできないのか。市民の生活道路というところを加味しながら、工芸館や工房については再考した計画にしないでいいでしょうか。

市長

動線としては、国際版画美術館とエレベーター利用の動線を館内で分けられるように検討をしているので、国際版画美術館本体への影響はないと考えています。工房については、過去の常任委員会で子どもが参加できる美術や親しめる工芸であることと、鑑賞だけでなく体験できるというコンセプトを追加するために町田荘の跡地に作ることを予定しています。来年は、市の財政は60億の減収になり大変厳しい状況なので、なるべく安くつくろうということ考えています。体験と子どもの2つのコンセプトを足して、計画を進めているところです。鑑賞だけではなく身近なものにしてほしいという要望に応える方向でやっています。

原町田六丁目町内会六生会

高齢者が健康のために境川遊歩道を使っている。そこへ大学生20～30人位が集団で走ってくる。町田の方から古淵駅の方まで2周位走っているが、狭いし、ぶつかった例もあるので、立て札など「右側を歩いて下さい」と書いてほしい。

市長

道路部が管理をしているので、対策は考えます。

○閉会の挨拶

町田第一地区 原町田五丁目町内会 会長